



# 建築用弾性シーリング材 総合カタログ

CEMEDINE SEALANTS

Ver.5.5





# CEMEDINE SEALANTS

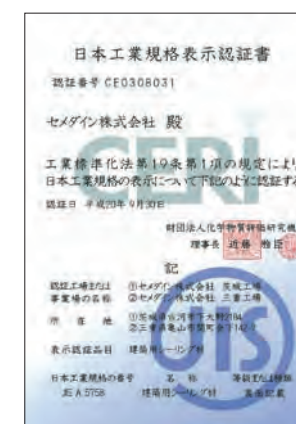
高度化する最新の建築構法・マテリアルのニーズに応じて…。

## C O N T E N T S

1	性状・性能(2成分形) .....	10・11
2	性状・性能(1成分形) .....	12・13
3	プライマーの種類・性状 .....	14・15
4	基材別特徴 .....	14・15
5	プライマー適用 .....	16・17
6	適材適所一覧表 .....	18・19
7	被塗装性 .....	20・21
8	打継ぎ性 .....	20・21
9	施工手順及び施工上の注意事項 .....	22
10	目地の設計 .....	23~26
11	積算参考資料 .....	26
12	全般的注意事項 .....	27

## 建築用弾性シーリング材

近年、建築物の需要が急増し、建築の工業生産化に対する認識が高まり、建築構成部材の標準化、工場量産化が活発に行われています。これに伴って、プレハブ工法やカーテンウォール工法による建築物が次々と建設され、それらの種々部材接続目地部や部材取付け部の水密性、気密性が非常に重要視されています。ここで重要な役目をはたしているのが、セメダイン建築用弾性シーリング材です。当社のシーリング材分野における長年の豊富な経験と実績を生かし、ニーズの多様化に適材適所で応えられるよう、製品の確立と体系作りが成されています。





# 施工例

## 現代建築の広域を極めるセメダイン「建築用シーリング材」の力



茨城県庁:POSシールタイプII



晴海アイランド トリトンスクエア:ポリシールN



天王寺Mio:POSシールタイプII 超耐候S-525



品川グランドセントラルタワー:POSシールタイプII  
:ポリシール



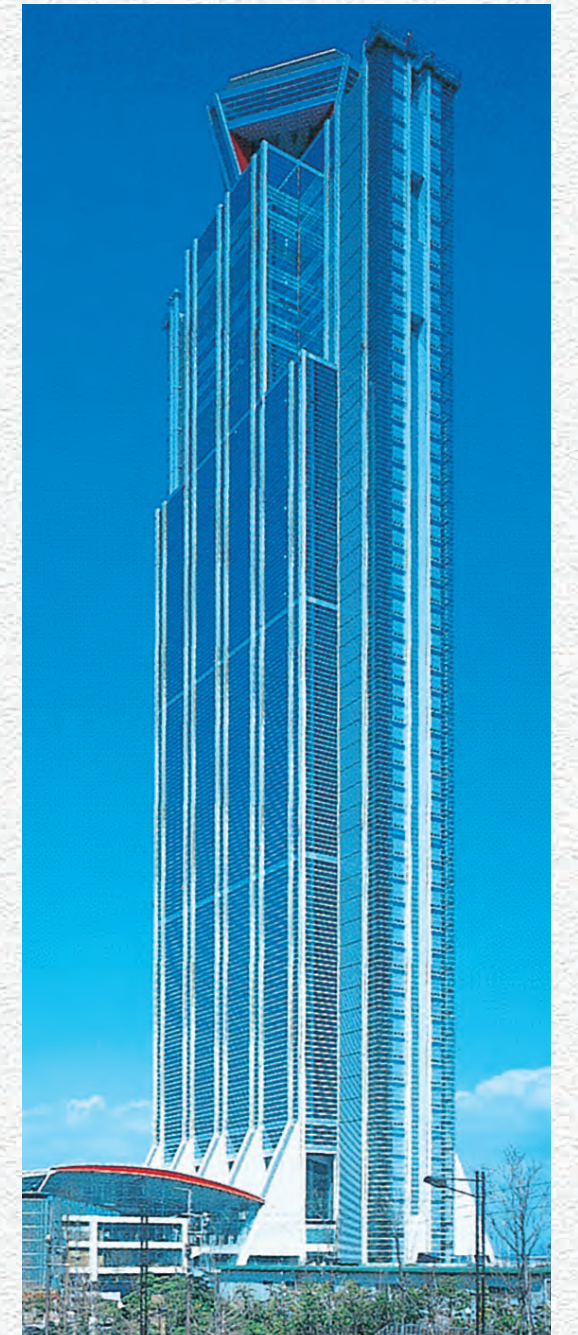
西神戸医療センター:POSシールタイプII  
:ポリシール



海ほたる:POSシールタイプII 超耐候S-525



品川IVタワー:POSシールタイプII



大阪府咲洲庁舎:POSシールタイプII



# 施工例

## 多様なニーズに対応するハイクオリティ建材が光る



住友不動産芝公園タワー:POSシールタイプII  
:ポリシールN



川崎駅再開発ビル (RIVERK):POSシールタイプII



京都駅ビル 外観:POSシールタイプII 超耐候S-525



弁天町駅前再開発オーク200:POSシールタイプII



山口国際センター:POSシールタイプII  
超耐候S-525



宮城社会保健病院:POSシールタイプII



りそな銀行本店:POSシールタイプII  
:ポリシール



大手町野村ビル:POSシールタイプII



# 施工例



ナビオス横浜:POSシールタイプII



ニューオータニ東京:POSシールタイプII



新宿野村ビル:ポリシール



北区産業文化会館(北とびあ):ポリシール



埼玉県立大学:ポリシール  
:ポリシールN



アジア経済研究所:ポリシール  
:ポリシールN



神戸事業ビル(ハウジングデザインセンター):POSシールタイプII



Jタワー(府中C-1ビル):ポリシール





# 性状・性能 (2成分形)

## 1. JIS A 5758に基づく性能

シーリング材の種類		シリル化アクリレート系		変成シリコーン系			変成シリコーン系 (窯業系サイディング用)		ポリサルファイド系		ポリウレタン系				
製品名		セメダインEXCEL II		POSシールタイプII		POSシールタイプIINB		POSシールタイプII 超耐候S525		POSシールサイディングII 超耐候S528		ポリシールN		S751NB	
項目															
JIS A 5758による区分		G・F-25LM-10030 (SA-2)		F-25LM-9030 (MS-2)		F-25LM-9030 (MS-2)		F-25LM-9030 (MS-2)		F-20LM-8020 (MS-2)		G-F-25LM-8020 (PS-2)		F-25LM-8020 (PU-2)	
スランプ (mm)	縦	5℃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		50℃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横	5℃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		50℃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弾性復元性 (%)		99		93		92		92		73		90		92	
被着体		アルミニウム ガラス		アルミニウム		アルミニウム		アルミニウム		アルミニウム		アルミニウム ガラス		アルミニウム	
引張特性 (N/mm <sup>2</sup> )	23℃	0.2	-	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	-	0.2	
	-20℃	0.4	-	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	-	0.2	
定伸張下での接着性	23℃	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
	-20℃	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
圧縮加熱・引張冷却後の接着性		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし	
人工光暴露後の接着性		-		-		-		-		-		-		-	
水浸漬後の定伸張下での接着性		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし	
体積損失 (%)		1.7		3.2		3.0		4.4		4.0		3.5		6.4	

## 2. 参考となる性状

製品名		セメダインEXCEL II		POSシールタイプII		POSシールタイプIINB		超耐候S525		超耐候S528		ポリシールN		S751NB	
項目															
外観および混合比	基剤	ペースト状	100	ペースト状	100	ペースト状	100	ペースト状	100	ペースト状	100	ペースト状	100	液状	100
	硬化剤	低粘液状	3	低粘液状	3.6	低粘液状	3	低粘液状	3	低粘液状	3	低粘液状	17	ペースト状	450
	カラーマスター	ペースト状	3	ペースト状	3.6	ペースト状	3	ペースト状	3	ペースト状	3	ペースト状	3.7	ペースト状	2.5
貯蔵安定性・有効期間 (月)		6		6		6		6		6		9		6	
押出性 (秒)	5℃	7		7		7		7		7		6		2	
	23℃	4		3		4		4		4		3		2	
可使時間 (時間)	5℃	5		4		5		5		6		5		4	
	23℃	3		3		3		3		3		3		3	
	35℃	2		3		2		2		2		2		2	
指触乾燥時間 (時間/23℃)		24以内		24以内		24以内		24以内		24以内		24以内		24以内	
密度 (g/cm <sup>3</sup> )		1.38		1.18		1.25		1.38		1.32		1.33		1.09	

## 3. 参考となる性能

製品名		セメダインEXCEL II			POSシールタイプII			POSシールタイプIINB			超耐候S525			超耐候S528			ポリシールN			S751NB			
被着体	条件	応力・伸び率			50%引張応力			50%引張応力			50%引張応力			50%引張応力			50%引張応力			50%引張応力			
		(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	
アルミニウム×アルミニウム	養生後	23℃	0.06	0.50	660	0.14	0.40	630	0.16	0.68	780	0.18	0.60	540	0.17	0.87	620	0.14	0.44	740	0.12	0.44	720
		-10℃	0.07	0.63	680	0.15	0.43	650	0.17	0.72	740	0.19	0.64	550	0.20	1.13	680	0.18	0.65	710	-	-	-
	加熱後	23℃	0.09	0.64	650	0.15	0.52	600	0.17	0.75	700	0.20	0.87	620	0.15	0.82	600	0.14	0.42	620	0.13	0.38	730
		-10℃	0.14	0.82	630	0.16	0.55	620	0.18	0.80	670	0.22	0.88	640	0.18	1.07	660	0.18	0.63	590	-	-	-
モルタル×モルタル	養生後	23℃	0.07	0.48	680	0.13	0.37	670	0.16	0.66	820	0.17	0.54	630	0.12	0.70	660	0.12	0.41	840	0.14	0.36	750
		23℃	0.07	0.52	650	0.14	0.43	620	0.16	0.72	760	0.19	0.62	530	0.17	0.82	600	0.15	0.48	720	0.13	0.33	530
	加熱後	-10℃	0.08	0.65	690	0.15	0.51	650	0.17	0.76	720	0.21	0.66	540	0.20	1.08	660	0.19	0.72	690	-	-	-
		23℃	0.08	0.64	640	0.15	0.54	600	0.17	0.80	700	0.21	0.88	630	0.15	0.80	600	0.15	0.46	600	0.14	0.31	460
ガラス×ガラス	養生後	23℃	0.06	0.49	640	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	0.44	740	-	-	-
		-10℃	0.07	0.66	700	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18	0.65	710	-	-	-
	加熱後	23℃	0.09	0.62	630	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	0.42	620	-	-	-
		-10℃	0.14	0.80	620	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18	0.63	590	-	-	-
促進暴露後	23℃	0.07	0.48	680	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.12	0.41	840	-	-	-	
	23℃	0.08	0.48	600	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.16	0.49	690	-	-	-	



# 性状・性能 (1成分形)

## 1. JIS A 5758に基づく性能

シーリング材の種類		シリコン系				変成シリコン系				ポリウレタン系	
製品名		8060プロ 脱オキシム形		8051N 脱アルコール形 (防カビタイプ)		POSシール		POSシールLM		S700NB	
項目											
JIS A 5758による区分		JIS G-30SLM-9030G, G-20LM-9030G (SR-1)		G・F-25HM-9030 (SR-1)		F-20HM-8020 (MS-1)		JIS F-20LM-8020 (MS-1)		JIS F-25LM-8020 (PU-1)	
スランプ (mm)	縦	5℃	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		50℃	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横	5℃	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		50℃	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弾性復元性 (%)		95		97		62		65		92	
被着体		アルミニウム		アルミニウム		アルミニウム		アルミニウム		アルミニウム	
引張特性 (N/mm <sup>2</sup> )	23℃	-	0.4	-	0.8	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	-20℃	-	0.4	-	0.8	0.7	0.3	0.3	0.2	0.2	
定伸張下での接着性	23℃	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	-20℃	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
圧縮加熱・引張冷却後の接着性		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし	
人工光暴露後の接着性		-		-		-		-		-	
水浸漬後の定伸張下での接着性		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし		異常なし	
体積損失 (%)		6.0		2.8		3.5		3.8		4.1	

## 2. 参考となる性状

製品名		8060プロ 脱オキシム形		8051N 脱アルコール形 (防カビタイプ)		POSシール		POSシールLM		S700NB	
項目		低粘ペースト状		低粘ペースト状		低粘ペースト状		低粘ペースト状		低粘ペースト状	
外観		低粘ペースト状		低粘ペースト状		低粘ペースト状		低粘ペースト状		低粘ペースト状	
貯蔵安定性・有効期間 (月)		12		12		12		12		12	
押出性 (秒)	5℃	7		7		7		7		10	
	23℃	4		4		4		4		6	
硬化速度 (日) (5mm厚完全硬化)	5℃	8		10		10		6		8	
	23℃	3		3		3		2		3	
	35℃	2		1		2		1		2	
指触乾燥時間 (時間/23℃)		0.5		0.5		1~2		6~10		7	
密度 (g/cm <sup>3</sup> )		1.05		1.47		1.38		1.36		1.43	

## 3. 参考となる性能

製品名		8060プロ 脱オキシム形			8051N 脱アルコール形 (防カビタイプ)			POSシール			POSシールLM			S700NB			
被着体	条件	50% 引張応力			50% 引張応力			50% 引張応力			50% 引張応力			50% 引張応力			
		(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	(N/mm <sup>2</sup> )	(N/mm <sup>2</sup> )	(%)	
アルミニウム×アルミニウム	養生後	23℃	0.41	0.83	280	0.45	1.80	500	0.37	0.88	240	0.19	0.54	500	0.18	1.63	790
		-10℃	-	-	-	-	-	-	0.39	1.06	250	0.20	0.88	610	0.26	1.73	740
	加熱後	23℃	0.44	0.93	290	0.42	1.72	430	0.39	0.95	210	0.15	0.76	550	0.23	1.38	820
		-10℃	-	-	-	-	-	-	0.41	1.08	240	0.16	0.85	650	0.36	1.63	730
	水浸漬後	23℃	0.39	0.81	300	0.45	1.77	460	0.27	0.83	490	0.12	0.40	600	0.14	1.61	970
		23℃	-	-	-	-	-	-	0.37	0.86	230	0.18	0.55	510	0.14	0.94	790
モルタル×モルタル	養生後	23℃	-	-	-	-	-	-	0.39	1.00	250	0.19	0.93	620	0.25	1.26	700
		-10℃	-	-	-	-	-	-	0.39	0.92	200	0.15	0.76	570	0.23	1.06	750
	加熱後	23℃	-	-	-	-	-	-	0.41	1.06	220	0.17	0.84	660	0.38	1.64	780
		-10℃	-	-	-	-	-	-	0.27	0.78	450	0.13	0.42	630	0.13	0.92	740
	水浸漬後	23℃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		23℃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス×ガラス	養生後	23℃	0.41	0.83	280	0.45	1.72	450	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-10℃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	加熱後	23℃	0.48	1.08	310	0.43	1.75	440	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-10℃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	水浸漬後	23℃	0.41	0.81	300	0.44	1.71	400	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		23℃	0.41	0.79	300	0.45	1.71	410	-	-	-	-	-	-	-	-	-



# プライマーの種類・性状

プライマーの種類・名称	プライマー B	プライマー D3		プライマー MP-1000	プライマー MP-2000	プライマー MP-3000
ホルムアルデヒド放散等級	—	—		JSIA-011010 F☆☆☆☆	JSIA-011011 F☆☆☆☆	JSIA-011013 F☆☆☆☆
タイプ	1成分形	1成分形		1成分形	1成分形	1成分形
外観	淡黄色透明液	淡黄色透明液		淡黄色透明液	淡黄色透明液	淡黄色透明液
乾燥時間 (オープンタイム)	5℃	60分		60分以上	60分以上	60分以上
	23℃	30分以上		30分以上	30分以上	30分以上
	30℃	20分以上		20分以上	20分以上	20分以上
含有溶剤	キシレン シクロヘキサン	n-ヘキサン		酢酸エチル 酢酸ブチル	酢酸エチル 酢酸ブチル	酢酸エチル 酢酸ブチル
塗布後の有効時間 (Hr.)	8	8		8	8	8
開栓後有効時間 (未使用時蜜栓)	当日内	当日内		当日内	当日内	当日内
粘度 (mPa・s/23℃)	80	1		10	10	18
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	0.97	0.67		0.98	0.98	1
有効期間 (月) (密封状態)	12	12		12	12	12
主たる適用シーリング材	8060プロ 8051N	8060プロ 8051N		POSシール POSシールLM	セメダインEXCEL II POSシールタイプII 超耐候S525 POSシールタイプIINB ポリシールN S751NB 超耐候S528 S700NB	POSシールLM 超耐候S528

# 基材別特徴

シーリング材の種類	1成分形					2成分形						
	シリコーン系		変成シリコーン系		ポリウレタン系	シリル化アクリレート系	変成シリコーン系			ポリサルファイド系	ポリウレタン系	
製品名	8060プロ 脱オキシム形	8051N 脱アルコール形 (防カビタイプ)	POSシール	POSシールLM	S700NB	セメダイン EXCEL II	POSシールタイプII	POSシール タイプIINB	POSシールタイプII 超耐候S525	POSシールサイディングII 超耐候S528	ポリシールN	S751NB
主成分	オルガノポリシロキサン		変成シリコーンポリマー		ウレタンプレポリマー	シリル基末端ポリアクリレート	変成シリコーンポリマー			ポリサルファイドポリマー	ウレタンプレポリマー	
硬化前の特徴	混練り性	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○
	低温時の作業性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	プライマーの依存度	○	○	○	○	×	×	×	×	△	×	×
	被着体含水率影響度	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	硬化性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
硬化後の特徴	硬化途中の追従性	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○
	動的追従性 (温度変化)	△	△	△	△	△	○	○	○	△	○	△
	動的追従性 (地震・風圧)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	応力緩和性 (乾湿変化)	△	△	○	○	△	△	△	△	○	△	△
	耐候性 (表面)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
	耐熱性	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	△
	ガラス越し耐候性	○	○	×	×	×	○	×	×	×	△	×
	目地表面の非汚染性	×	×	○	○	△	○	○	○	○	○	△
	目地周囲の非汚染性	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
目地表面の後塗装性	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○:適 △:劣る ×:不可





# プライマー適用

下地	被着体		清掃溶剤	1 成分形					2 成分形					備考						
				シリコン系		変成シリコン系		ポリウレタン系	シリル化 アクリレート系	変成シリコン系			ポリサルファイド系		ポリウレタン系					
				8060プロ 脱オキシム形	8051N 脱アルコール形 (防カビタイプ)	POSシール	POSシールLM	S700NB	セメダイン EXCEL II	POSシール タイプII	POSシール タイプIINB	POSシールタイプII 超耐候S525	POSシールサイディングII 超耐候S528		ポリシールN	S751NB				
アルミニウム	塗装	常温乾燥型	アクリル系	n-ヘキサン	D3	D3	MP-1000	MP-1000	MP-2000		MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000,3000	MP-2000	MP-2000	塗料養生充分であること。 プライマーの2度塗りが必要。 (塗布間隔最低30分)		
		ウレタン系	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑			
		常温反応型	アクリル系	メチルシクロヘキサン	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		↑	
	ウレタン系	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑			
	フッ素樹脂系	↑	※	※	※	※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		※事前チェックが必要。	
	熱硬化型	アクリル系	↑	D3	D3	MP-1000	MP-1000	MP-2000		MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000,3000	MP-2000	MP-2000	MP-2000		塗料養生充分であること。 プライマーの2度塗りが必要。 (塗布間隔最低30分)	
		アクリルウレタンクリアー	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑			↑
		フッ素樹脂系	↑	※	※	※	※	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—
	処理	硫酸アルマイト	↑	D3	D3	MP-1000	MP-1000	MP-2000		MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000,3000	MP-2000	MP-2000	MP-2000		MP-2000	処理によっては接着性にバラツキあり。 事前チェックが望ましい。 (大型パネル特に要注意)
		カラーアルミ	自然発色	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		↑	
電解着色	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑			
スチール	塗装	錆止塗料	油性系	n-ヘキサン	D3	D3	MP-1000	MP-1000	MP-2000		MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000,3000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	塗膜が弱い。塗膜からのはくりが生ずる。 事前検討が必要。	
		ジンクリッチプライマー	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		
	常温乾燥型	塩化ビニール系	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	MP-1000	MP-1000	MP-1000	MP-1000	—	—	—	塗料養生充分であること。 プライマーの2度塗りが必要。 (塗布間隔最低30分)	
		塩化ゴム系	↑	↑	↑	MP-1000	↑	↑	↑	↑	↑	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000,3000	MP-2000	MP-2000	MP-2000		
		グラファイトペイント	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		
		アクリル系	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		
	常温反応型	プレバレン	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	
		アクリル系	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	
		ウレタン系	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	
		フッ素樹脂系	↑	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※事前チェックが必要。
タールエポキシ系	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	※	※	※	※	※	※	※	※	※事前チェックが必要。(タール分移行に注意)		
被覆	ホーロー鋼板	メチルシクロヘキサン	D3	D3	MP-1000	MP-1000	MP-2000		MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000,3000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	※事前チェックが必要。	
	塩ビ鋼板	↑	※	※	↑	↑	↑	↑	↑	↑	MP-1000	MP-1000	MP-1000	↑	↑	↑	↑			
	フッ化ビニル被覆鋼板	↑	※	※	↑	↑	—	—	—	—	MP-2000	MP-2000	MP-2000	↑	—	—	—			
	歴青質鋼板	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		接着不良、シリコンマスチックタイプが適
その他の金属	ステンレス(ヘアライン・鏡面)	メチルシクロヘキサン	D3	D3	MP-1000	MP-1000	MP-2000		MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000,3000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	表面が不活性、接着不良が生じ易い。 表面バフ掛けにてぜい弱層を除去 すること。	
	銅(素地・硫化処理)	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		
	亜鉛メッキ鋼板	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		
	ガルバニウム鋼板	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		
コンクリート・石・ガラス	コンクリート	↑	B	B	MP-1000	MP-1000	MP-2000		MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	↑	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	多孔質のため、プライマー塗布 は充分に行うこと。		
	モルタル	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		↑	
	スレート類	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		↑	
	ALC	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		↑	
	御影石	↑	—	—	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		↑	※事前チェックが必要。 プライマー塗布を確実にすること。
	大理石	↑	—	—	↑	↑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	
	タイル	↑	D3	D3	↑	↑	MP-2000		MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	↑	↑	↑	↑	MP-2000		MP-2000	
ガラス	↑	↑	↑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	↑		
結晶化ガラス	↑	↑	↑	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	↑		
その他	アクリル・ポリカーボネート板	n-ヘキサン	—	ノンプライマー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	シリコンアルコールタイプが適	
	硬質塩ビ	↑	※	D3	MP-1000	MP-1000	MP-2000		MP-2000	MP-1000	MP-1000	MP-1000	MP-1000	MP-1000	MP-1000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000	
	FRP	メチルシクロヘキサン	D3	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	MP-2000	MP-2000	MP-2000	MP-2000,3000	↑	↑	↑	↑	↑	
	木材・合板	↑	B	B	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	—	↑	↑	↑	↑	↑	
	成型ゴム類	↑	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※事前チェックが必要。
窯業系防火サイディング材	↑	—	—	—	—	MP-1000,3000	—	—	—	—	—	—	—	MP-2000,3000	—	—	—	—		





# 適材適所一覧表

目地区分 シーリング材の種類、商品名 構法、部位、構成材			1成分形					2成分形					備考	
			シリコーン系		変成シリコーン系		ポリウレタン系	シリル化 アクリレート系	変成シリコーン系			ポリサルファイド系		ポリウレタン系
			8060プロ 脱オキシム形	8051N 脱アルコール形	POSシール	POSシールLM	S700NB	セメダイン EXCEL II	POSシール タイプII	POSシール タイプIINB	POSシールタイプII 超耐候S525	POSシールサイディングII 超耐候S528		ポリシールN
カー テン ウ ォ ー ル	ガラス、マリオン方式	ガラスまわり目地					◎							※1 石材打込みPCa板の石目地 (細目地)にはプライマーを 充分に塗布してください。  ※2 仕上塗材の種類により、不具合 が発生することがあります。事前 検討が必要です。バリアーブラ イマーの使用を推奨します。  ※3 フッ素鋼板の場合、必ず事前 検討を行ってください。  ※4 事前に汚染の出ないことを 確認の上、ご使用ください。 石目地にはプライマーを充分 に塗布してください。  ※5 防カビ剤入り(8070プロ)を ご使用ください。  ※6 速硬化タイプPOSシールFや 金属用シールS-585HFも 適しています。
		方立無目ジョイント					◎							
	金属パネル方式	ガラスまわり目地					◎							
		パネル間目地					◎	◎	◎	◎				
	PCaパネル 方式	石打込みPCa タイル打込みPCa 吹付塗装PCa	PCaパネル間目地 ※1					◎	◎	◎	◎	○		
			窓枠まわり目地					◎	◎	◎	◎	○		
		ガラスまわり目地					◎				○			
	各種 外 装 パ ネ ル	ALCパネル (スライド、ロックング、 カバープレート構法)	ALCパネル間目地 塗装あり <sup>※2</sup>			○	○	○	○	○	○		◎	
			窓枠まわり目地 塗装なし			○			○	○	○	○		
		塗装アルミニウムパネル (強制乾燥、焼付塗装)	パネル間目地 ※3					◎	◎	◎	◎			
		塗装鋼板・ほうろう鋼板パネル	パネル間目地・窓枠まわり目地					◎	◎	◎	◎	○		
		GRC、セメント 押し出し成形板	パネル間目地 塗装あり <sup>※2</sup>				○	○	○	○	○	○	○	
			窓枠まわり目地 塗装なし				○	○	○	○	○	○	○	
	窯業系サイディング	パネル間目地 塗装あり <sup>※2</sup>				○	○			○		○		
		窓枠まわり目地 塗装なし				◎				◎				
金属製 建 具	ガラスまわり	ガラスまわり目地	◎	◎			◎				○			
		水切り・皿板目地					◎	◎	◎	◎				
	建具まわり	建具まわり目地(水切り、皿板なし)					◎	◎	◎	◎	○			
サッシ工場シール	シーリング材受け									○				
笠木	金属製笠木	笠木間目地					◎	◎	◎	◎				
		石材笠木	笠木間目地 ※4					◎	◎	◎	◎	○		
	PCa笠木	笠木間目地					◎	◎	◎	◎	○			
RC壁	構造スリット	構造スリットの 目地 塗装あり <sup>※2</sup>					◎	◎	◎	◎	○	○		
		目地 塗装なし					◎	◎	◎	◎	○	○		
コン ク リ ー ト 壁	RC壁、壁式PCa	打継ぎ目地、 収縮目地 塗装あり <sup>※2</sup>		○	○	○	○	○	○	○	○	◎		
		窓枠まわり目地 塗装なし		○	○		◎	◎	◎	◎	○			
	石張り(湿式) (石打込みPCa、 石目地含む)	石目地 ※4					◎	◎	◎	◎	◎			
		窓枠まわり目地				○	○	○	○	○	○			
	タイル張り (タイル打込み PCaを含む)	タイル目地				○	○	○	○	○	○			
		タイル下地躯体目地					○					◎		
パ ネ ル 外 装	ALCパネル (挿入筋・ボルト 止め構法)	ALCパネル間目地 塗装あり <sup>※2</sup>				○	○	○	○	○	○	◎		
		窓枠まわり目地 塗装なし				○	○	○	○	○	○	◎		
	窓枠まわり目地	塗装あり <sup>※2</sup>				○	○	○	○	○	○	◎		
		塗装なし				○	○	○	○	○	○	◎		
外 壁 以 外 の 目 地	屋根・屋上	シート防水等の端末処理			○※6									
		瓦の押さえ(台風被害の防止)	○	○	○※6									
		金属屋根の折り曲げ部のツール	○	○	○※6									
	水回り ※5	浴室・浴槽(耐温水性必要部)	○	○										
		キッチンキャビネットまわり	◎	◎	○									
	設 備	洗面化粧台まわり	塗装あり <sup>※2</sup>			○※6	○	○	○	○	○	◎		
			塗装なし			○※6	○					○		
		バルコニー等 手すりの支柱 脚部まわり	塗装あり <sup>※2</sup>			○	○	○	○	○	○	○		
			塗装なし			○	○					○		
	避難ハッチ まわり	塗装あり <sup>※2</sup>			○	○	○	○	○	○	○			
塗装なし				○	○					○				
その他	ポリカーボネート・アクリル板		◎											

◎：推奨シーリング材  
○：適用可能シーリング材





# 被塗装性

シーリング材の種類・商品名		1成分形										2成分形											
		シリコーン系				変成シリコーン系				ポリウレタン系		変成シリコーン系						ポリサルファイド系		ポリウレタン系			
		8060プロ脱オキシム形		8051N脱アルコール形(防カビタイプ)		POSシール		POSシールLM		S700NB		POSシールタイプII		POSシールタイプIINB		POSシールタイプII超耐候S525		POSサイディングII超耐候S528		ポリシールN		S751NB	
仕上塗り材の種類・(通称)		付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性
外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗り材(薄塗材E)	樹脂リシン	×	-	×	-	○	△	○	○	○	△	○	△	○	○	○	△	○	△	○	△	○	○
可とう性外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗り	弾性リシン	-	-	-	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗り材(複層塗材E)	複層E	×	-	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗り材	複層RE	×	-	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
防水形外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗り材	単層弾性	×	-	×	-	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	△	○	△	○	○	
防水形外装合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗り材	複層弾性	×	-	×	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗り材(厚塗材E)	樹脂スタック	×	-	×	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セメント系厚付け仕上塗り材(厚塗材C)	セメントスタック	×	-	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アクリルエマルジョン樹脂塗料	水性アクリル	×	-	×	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反応硬化形水性ウレタン樹脂塗料	水性ウレタン	×	-	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アクリル樹脂エナメル塗料	溶剤型アクリル	×	-	×	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アクリルウレタン樹脂エナメル塗料	溶剤型アクリルウレタン	×	-	×	-	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

上表中、付着性・汚染性のデータはあくまで一応の目安です。同種(通称)においても、メーカーによってバラツキがありますので、必要に応じて試験を実施し、確認のうえご使用ください。

付着性：シーリング材への付着性の程度  
 ○ ……良好  
 △ ……可  
 × ……不可

汚染性：シーリング材上の仕上塗り材の変色・軟化などの程度  
 ○ ……良好  
 △ ……メーカーで差などで若干汚染あり(バリアプライマー使用で可)



# 打継ぎ性

後打ち		1成分形										2成分形										
		シリコーン系		変成シリコーン系				ポリウレタン系		シリル化アクリレート系			変成シリコーン系		ポリサルファイド系		ポリウレタン系					
		8060プロ脱オキシム形		8051N脱アルコール形(防カビタイプ)		POSシール		POSシールLM		S700NB		セメダインEXCEL II	POSシールタイプII		POSシールタイプIINB	POSシールタイプII超耐候S525		ポリシールN		S751NB		
先打ち		付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	付着性	汚染性	
1成分形	シリコーン系	8060プロ脱オキシム形	○(なし)	○(なし)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		8051N脱アルコール形(防カビタイプ)	○(なし)	○(なし)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	変成シリコーン系	POSシール	○(MP-1000)	○(MP-1000)	○(なし)	○(なし)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)
		POSシールLM	×	×	○(なし)	○(なし)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)
ポリウレタン系	S700NB	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(なし)	○(なし)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	
2成分形	シリル化アクリレート系	セメダインEXCEL II	○(D3)	○(D3)	○(MP-1000)	○(MP-1000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)
	変成シリコーン系	POSシールタイプII	○(D3)	○(D3)	○(なし)	○(なし)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)
		POSシールタイプII超耐候S525	○(D3)	○(D3)	○(なし)	○(なし)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)
		POSシールタイプIINB	○(D3)	○(D3)	○(なし)	○(なし)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)
	ポリサルファイド系	ポリシールN	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-1000)	○(MP-1000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)	○(MP-2000)
ポリウレタン系	S751NB											○(MP-2000)	○(MP-2000)			○(MP-2000)	○(MP-2000)			○(MP-2000)	○(MP-2000)	



# 施工手順及び施工上の注意事項

(2成分形)

<b>施工前の検討</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目地の納まりの検討(形状・寸法、2次排水処理、施工条件など)を充分に行ってください。</li> <li>● 材料、プライマー、副資材の選定と施工要領書の作成をしてください。</li> </ul>
<b>施工前の確認</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目地構造及び寸法が施工に適しているかどうか確認してください。</li> <li>● 接着を妨げる異物があるかどうか確認してください。</li> <li>● 目地が十分に乾燥しているかどうか確認してください。</li> </ul>
<b>施工面の清掃</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 油分、離型剤、ゴミなどは接着を妨げますので、溶剤を含ませた布でよく清掃してください。</li> <li>● 溶剤は通常メチルシクロヘキサンを使用しますが、塗面を溶解する場合はノルマルヘキサンを使用してください。</li> <li>● レイタンス、モルタルくすなどワイヤーブラシで取り除いた後、溶剤で清掃してください。</li> </ul>
<b>バックアップ材の装てん</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目地深さの調整および三面接着を防ぐために目地幅より20%程度広いバックアップ材を装てんしてください。</li> <li>● 目地深さが浅く、バックアップ材が装てん出来ない場合は、目地底に離型テープを貼り、三面接着をさけてください。</li> </ul>
<b>マスキングテープ貼り</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テープは接着面に粘着材が残らないものを使用し、目地内にテープの食い込みがないよう注意してください。</li> </ul>
<b>プライマーの塗布</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハケで塗りムラのないよう均一に塗布してください。</li> <li>● プライマーの最低乾燥時間は15℃以上の場合30分、以下の場合50分を目安にしてください。また8時間以上経過させないでください。</li> </ul>
<b>シーリング材の混練</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カラーペーストの色がなくなり、全体が均一になるまで、充分に混練してください。目分量での混練は絶対に避けてください。</li> <li>● 気泡の混入を防ぐため、真空脱泡混合機、ドラム回転式ミキサーの使用をおすすめします。</li> </ul>
<b>シーリング材の充てん</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目地の深部まで、いきわたるよう充分加圧し、一定速度で充てんしてください。</li> <li>● 可使時間内において充てんしますが、後のヘラ仕上げが余裕をもってできるように考慮してください。</li> <li>● 打継箇所は、目地の交差部およびコーナー部を避け、そぎ継ぎにしてください。</li> </ul>
<b>ヘラ仕上げ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 美しい仕上げ、また接着の有利さの面から、できるだけ短時間で行ってください。</li> <li>● 押えを充分に行ない目地内にすきまのないようにしてください。</li> </ul>
<b>マスキングテープ除去</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヘラ仕上げ終了後は可能な限り短時間内に除去してください。</li> </ul>
<b>施工後の清掃</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目地周辺の汚れ(シーリング材、プライマー)を完全に除去してください。</li> </ul>

## 施工における一般的注意事項

被着体、特にPC、RC、モルタル、ALCなどがぬれている場合は施工を避け、充分に乾燥を確かめた後施工してください。  
 降雨、降雪時の施工は絶対に避けてください。  
 施工後の酸洗いは、20℃で7日後を目安にして実施してください。  
 プライマーは可燃性溶剤を含んでいますので火気には十分に注意してください。  
 シーリング材及びプライマーが皮膚などに付着した場合は直ちにふきとり、その後、石けんなどでよく洗浄してください。  
 シーリング材とプライマーの保存は直射日光を避け、湿気の少ない涼しいところに置いてください。

# 目地の設計

## ◆ワーキングジョイントの目地設計

### (1) ムーブメントの算定

#### ①温度ムーブメント

$$\delta t = \alpha \cdot l \cdot \Delta T (1 - K t)$$

$\delta t$  : 温度ムーブメント (mm)  
 $\alpha$  : 部材の線膨張係数 (1/℃)  
 $l$  : 部材の設計長さ (mm)  
 $\Delta T$  : 部材の実効温度差 (℃)  
 $K t$  : 温度ムーブメントの低減率

- 主な目地構成部材の線膨張係数 $\alpha$ は表の値を目安とする。
- 部材の実効温度差 $\Delta T$ は表の値を目安として設定する。同表では構成部材表面の色調が明色と暗色の両極端の場合について数値を示したが、実際の色調に応じて中間の数値を用いてよい。
- ムーブメントの低減率 $K t$ は表の値を目安とする。

#### ②層間変位ムーブメント

層間変位による目地の動きは、部材の構成や剛性によって異なる。一般に1ユニットが剛性の高いPCやアルミ合金製鋳物で構成されるカーテンウォールで大きく、それらの取付け方法としては、スライド方式、ロッキング方式、スライド・ロッキング併用方式がある。

#### スライド方式

$$\delta H = R \cdot h p (1 - K r) = \Delta (1 - K r)$$

#### ロッキング方式

$$\delta v = R \cdot w p (1 - K r) = \Delta (w p / h p) (1 - K r)$$

ここで

- $\delta H$  : 横目地のムーブメント (mm)
- $\delta v$  : 縦目地のムーブメント (mm)
- $R$  : 層間変形角 (rad)
- $\Delta$  : 層間変位 (mm)
- $h p$  : パネルの高さ (又は階高) (mm)
- $w p$  : パネルの幅 (mm)
- $K r$  : 層間変位ムーブメントの低減率

【表】部材の線膨張係数 $\alpha$  (×10<sup>-6</sup>/℃)

形状	種類	線膨張係数	
形材	アルミ	23	
パネル	金属	アルミ板	23
		アルミ鋳物	23
		ステンレス	17
	鋼	10	
	コンクリート	10	
	ALC	7	
	ガラス	9	

【表】部材の実効温度差 $\Delta T$  (℃)

形状	種類	構成部材		外壁	笠木
		表面の色調 <sup>※2</sup>			
形材	アルミ	明色	55	65	
		暗色	70	80	
パネル	金属	アルミ板	明色	55	65
			暗色	70	80
		アルミ鋳物	明色	50	55
			暗色	65	70
		ステンレス	明色	55	65
			暗色	70	80
	鋼	明色	55	65	
		暗色	70	80	
	コンクリート	明色	35	40	
		暗色	40	45	
ALC	明色	40	—		
	暗色	45	—		
ガラス	一般	—	45		
	特殊 <sup>※1</sup>	—	55		

※1. 熱線吸収・熱線反射などの熱吸収の大きい板ガラス  
 ※2. 明色は金属素地光沢を有するものおよび、明度が比較的白色に近いもの  
 暗色は明度が比較的黑色に近いもの

●温度ムーブメントの低減率 $K t$ は表の値を目安とする。

【表】温度ムーブメントの低減率  $K t$

形状	構成部材の種類	外壁	笠木
形材	アルミ	0.2	0.1
パネル	金属	アルミ板	0.3
		アルミ鋳物	0.2
		ステンレス	0.3
	鋼	0.3	
	コンクリート	0.1	
	ALC	0.1	—
	ガラス	0.1	—

【表】層間変位ムーブメントの低減率  $K r$

h p / w p	スライド方式	ロッキング方式
2以上	0.1	0.1
2未満・0.5以上		0.2
0.5未満		0.3

※1 PCカーテンウォールの場合  
 ※2 hp:パネルの高さ  
 wp:パネルの幅



# 目地の設計

## (2) 設計目地幅の算定

目地幅は右記の式で算定する。

$$w \geq \frac{\delta}{\epsilon} \times 100 + |We| \dots \dots \dots (2-1)$$

ここで w:設計目地幅 (mm)

$\delta$ :目地ムーブメント (mm)

$\epsilon$ :シーリング材の設計伸縮率又は設計せん断変形率 (%)

We:目地幅の施工誤差 (mm)

●シーリング材の設計伸縮率・設計せん断変形率 $\epsilon$ は表の値を標準とする。

【表】シーリング材の設計伸縮率・設計せん断変形率 $\epsilon$ の標準値

シーリング材の種類	セメダイン「商品名」	伸 縮		せん断		耐久性の区分		
		※1 M1	※2 M2	※1 M1	※2 M2			
1 成分 形	シリコーン系	8060プロ		(10)	(15)	(20)	(30)	9030G
	変成シリコーン系	POSシール		10	15	15	30	8020
		POSシールLM		10	15	15	30	8020
	ポリウレタン系	S700NB		10	20	20	40	8020
2 成分 形	シリル化アクリレート系	セメダインEXCEL II		20	30	30	60	10030
	変成シリコーン系	POSシールタイプII、POSシールタイプIINB		20	30	30	60	9030
		POSシールタイプII超耐候S525		20	30	30	60	9030
	ポリサルファイド系	ポリシールN		10	20	20	40	8020
	ポリウレタン系	S751NB		15	20	20	40	8020

※1:温度ムーブメントの場合 ※2:風・地震による層間変位ムーブメントの場合 ( ):ガラス回り目地の場合

●目地幅の施工誤差Weは、部材寸法の精度と施工精度に関係し、表の値を標準とする。

【表】カーテンウォール部材取付け時の目地幅の許容差Weの標準値 (mm) (JASS 14より抜粋)

項 目	金属製 カーテンウォール	アルミニウム合金 鋳物製カーテンウォール	プレキャストコンクリート カーテンウォール
目地幅の許容差	±3	±5	±5

【表】設計目地幅Wの許容範囲 (mm)

シーリング材の種類	目地幅の許容範囲	
	最大値	最小値
シリコーン系	40 (25)	10 (5)
シリル化アクリレート系	40 (25)	10 (5)
変成シリコーン系	40	10
ポリサルファイド系	40 (25)	10 (5)
ポリウレタン系	40	10

( )はガラス回り目地の場合

## (3) 目地深さの算定

目地深さ(シーリング材の厚さ)は目地幅との関係(形状係数D/W)と実用上の必要接着面積から決定し、図にある許容範囲内に納まるように設定する。

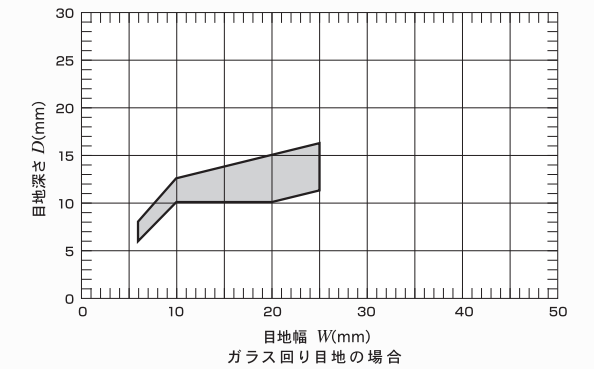
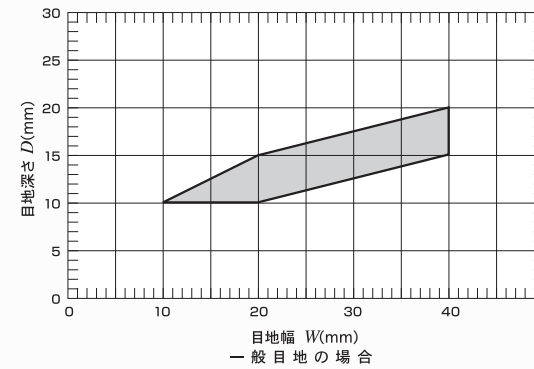


図 ワーキングジョイントの目地深さDの許容範囲

●目地深さDの寸法のとり方は図のようにする。

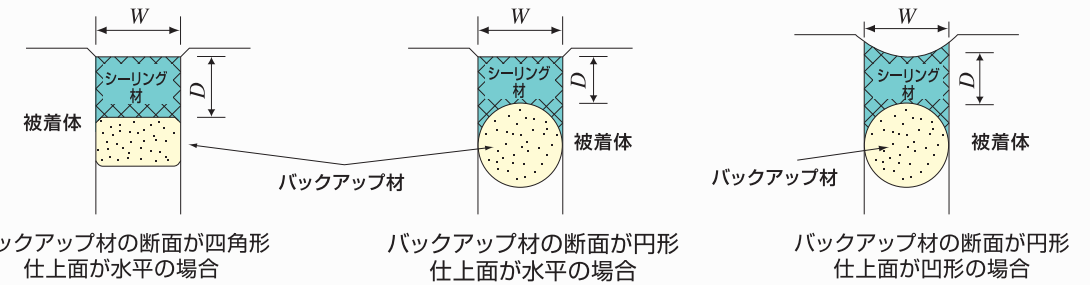


図 目地深さDの寸法のとり方

## (4) バックアップ材およびボンドブレイカー

バックアップ材およびボンドブレイカーの代表的な例は表による。

【表】使用部位とバックアップ材およびボンドブレイカーの材質形状の適切な組合せ

使用部位	形状・材質	幅	備 考
コンクリート目地	〈バックアップ材〉 角・丸型ポリエチレン独立気泡発泡体	目地幅×1.1~1.3	目地底が無い場合は、丸型および中空丸型を使用する。
金 属 目 地	〈バックアップ材〉 角型ポリエチレン独立気泡発泡体	目地幅×1.1~1.2	のり付きの場合は、目地幅より1~2mm小さいものを使用する。
ガ ラ ス 目 地	〈バックアップ材〉 ポリエチレン独立気泡発泡体 セッティングブロック (EPDMゴム、クロロプレンゴム、塩化ビニル樹脂)	目地幅×1.1~1.2	合成ゴム、樹脂は、シーリング材に悪影響(変色など)を及ぼさず、かつ接着しないこと。
深 さ が 浅 い 目 地	〈ボンドブレイカー〉 薄型テープ(1mm厚) シリコンテープ ポリエチレンテープ	目地幅×0.8~0.9	シリコーン系、ポリイソブチレン系、変成シリコーン系はポリエチレンテープ、(シリコーンテープは接着する場合がある)ポリサルファイド系、ポリウレタン系はシリコンテープ、ポリエチレンテープを使用する。



# 目地の設計

## ◆ノンワーキングジョイントの目地設計

ノンワーキングジョイントにおける目地の寸法は、設計意図、外装形態、施工性を考慮して決められるが、シーリング材の性能面からは表の範囲内に納めるようにする。

ノンワーキングジョイントの目地寸法の許容範囲(mm)

シーリング材の種類		目地寸法の許容範囲			
硬化機構	主成分	最大値		最小値	
		幅	深さ	幅	深さ
反応硬化2成分形	シリル化アクリレート系	40	30	10	10
	変成シリコン系	40	30	10	10
	ポリサルファイド系	40	30	10	10
	ポリウレタン系	40	20	10	10
湿気硬化1成分形	シリコン系	40	20	10	10
	変成シリコン系	40	20	10	10
	ポリウレタン系	40	20	10	10
乾燥硬化1成分形	アクリル系	20	15	10	10
乾燥非硬化1成分形	油性コーキング材	30	20	10	10

# 積算参考資料

## (1) シーリング材1ℓ当りの概算施工m数

目地幅 (mm)	6	8	10	15	20	25	30	40
6	23.1	17.3	13.8					
8		13.0	10.4	6.9				
10			8.3	5.5	4.2			
12				4.6	3.5	2.8		
15					2.8	2.2	1.8	
20						1.7	1.4	1.0
25							1.1	0.8

〔注〕ロス分 約20%を考慮しています。

## (2) プライマー1缶 (500g) 当りの概算施工m数

目地幅 (mm)	材質	多孔質 (面) (コンクリート、石材など)	非多孔質 (面) (金属、ガラスなど)
6		—	300
8		113	225
10		90	180
12		75	150
15		60	120
20		45	90
25		36	72

〔注〕ロス分 約20%を考慮しています。

# 全般的注意事項

## 作業上に関する注意事項

- 2成分形の場合、必ずセットになっている基剤・硬化剤を組合わせて使用してください。
- 開封した基剤・硬化剤・カラーマスターはその日のうちに使い切ってください。
- 「⑤プライマー適用表」の専用プライマーを必ず使用してください。プライマーを使用しないと接着しませんので、ムラのないようにていねいに塗布してください。
- シーリング目地上に塗装を行う際は、塗料メーカーの仕様に基づき行ってください。
- 材料は、直射日光・火気・湿気・水を避け、冷暗所で保管してください。
- 有効期間内に使用してください。
- 建築用シーリング材としての用途以外には使用しないでください。
- 使用後の缶等の廃棄は、産業廃棄物処理専門業者に委託してください。

## 安全・取扱い上の注意事項

- 当カタログに記載されたセメダイン「建築用シーリング材」・「プライマー」には、有害性・引火性のある製品があります。取扱いにつきましては、下記事項に注意してください。**
- 火気のある所では使用しないでください。
  - 取扱い場所には局所排気装置を設けてください。
  - 直接皮膚に触れないよう注意し、もし皮膚に付いた時はウエスなどでふき取った後、石けんで良く洗い落としてください。
  - 誤って目に入れた場合は直ちに多量の清浄な水で洗い、医師の診察を受けてください。
  - 蒸気を吸って気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、空気の清浄な場所に移動してください。尚、必要に応じて医師の診察を受けてください。
  - 取扱い後は手洗いやお風呂がいを充分に行ってください。
  - 詳細な注意事項が必要な場合には、安全データシート (SDS) を参照してください。

## 製品一覧

一成分形							
二成分形							
プライマー							



# セメダイン株式会社

東京事業所	〒141-8620	東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー	☎03-6421-7275
大阪事業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場1-16-10	☎06-4964-5330
名古屋事業所	〒460-0008	名古屋市中区栄2-3-1 名古屋広小路ビルディング5階	☎052-218-5316
札幌営業所	〒060-0042	札幌市中央区大通西9-3	☎011-271-4929
仙台営業所	〒984-0011	仙台市若林区6丁の目西町8-1 斎喜センタービル2階	☎022-287-3611
福岡営業所	〒812-0039	福岡市博多区博多駅前2-17-19 安田第5ビル9階	☎092-432-7520

お問い合わせ、SDSご要望の際は下記へご連絡ください。

商品に関するお問い合わせ先: 接着技術相談センター

☎0120-58-4929 (土曜日・休日を除く10:00~12:00、13:00~17:00)

- 本カタログに記載の仕様および外観は改良のため、お客さまに予告無く変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログに記載のデータや各種事項は当社の信頼する代表的な実験値や調査によるもので、保証値ではありません。
- ご使用に当たっては、必ず事前に、本製品がお客さまの使用目的、用途、条件に適合するか否かを、お客さまご自身で責任を持ってご判断の上、ご使用ください。
- 売主および製造者の責任は、不良が証明された場合の製品の交換であり、付帯する事項すべてを保証するものではありません。
- 本カタログに掲載のデータや各種事項等は2017年12月現在のものです。

<http://www.cemedine.co.jp>